

教 科 用 図 書 採 択 参 考 資 料 綴 り

教 科 名 社会 (公民)

調査研究報告書

(小委員会名： 公民)

1. 調査研究の経過及び内容	<p><u>1. 調査研究の経過</u></p> <p>(1) 調査委員が調査研究し、教科用図書採択参考資料を作成した。</p> <p>(2) 教科用図書採択参考資料をもとに、小委員会で協議し報告内容を決定した。</p> <p><u>2. 調査研究の内容</u></p> <p>(1) 取り扱い内容について</p> <ul style="list-style-type: none">・教育基本法や中学校学習指導要領を全者とも踏まえ、適切な内容で編集されている。 <p>(2) 内容の構成・排列、分量について</p> <ul style="list-style-type: none">・全者とも学校教育法施行規則に定められている授業時数をふまえて編集されており、公民的分野としての見方・考え方を働かせて課題を追求し、自分の考えを説明、論述する授業展開を実践できる分量となっている。・全者とも各章の始め、見開きごとにこれからの学習に見通しをもてるような工夫がなされている。・発行者によっては「自分の考えを整理する、組み立てる」ということに対しては、かなり重きをおく一方で、「教科書以外の資料について調査を行って、自分で事実を調べる」という点が不足している。 <p>(3) 使用上の配慮等について</p> <ul style="list-style-type: none">・各者ともに文字の大きさや字体、グラフなどの配色にユニバーサルデザインを取り入れ、インクルーシブ教育に対応したものとなっている。・全者とも幅広のA B版を採用している。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none">・社会は1、2年生で地理・歴史を学習し、3年生では歴史・公民を学習する。教科書ごとに学習の進め方が異なるため、分野ごとに発行者が変わると生徒が戸惑うことが考えられる。
2. 調査研究の具体的資料	<p>① 教科書編修趣意書</p> <p>② 採択参考資料</p> <p>③ 学習指導要領解説</p> <p>4 その他 ()</p>
3. 少数意見等	<p>・かなりかっちりした思考段階設定や思考ツールを活用している発行者がいくつかある。生徒の主体性を阻んでしまう恐れがある。</p>

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第3学年 公民的分野	公民 901	新しい社会 公民
取 扱 内 容	学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、グローバル化の進展で日本がどのように変化してきているのかをてんぷらそばの材料生産国や外国で活躍する日本人の推移などに着目し、現代日本の特色を理解したり、学校の体育館使用の決まりを決定する流れを事例に、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定や評価、見直しを考察する活動。 ・「私たちと経済」において、ケーキの価格の決め方やインターネットオークションについて、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や価格の決め方を理解したり、社会保障制度には自助・共助・公助の適切な組み合わせが必要なことをふまえ、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動。 ・「私たちと政治」において、公害被害の写真と改善された写真を比較し、産業や科学技術の発展により新たな個人の権利ができたことに着目し、個人の尊重と法の支配、人間の尊重の考え方を理解する。また、少子高齢化が財政にどのような影響をおよぼしているのかを理解したり、模擬選挙や条例を作ったりしながら、民主政治や国民の政治参加を考察したりする活動。 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国や地域の一人あたりの二酸化炭素排出量やハンガーマップ、世界の難民発生数などから国際問題に着目し、政府開発援助や国際連合の役割を理解したり、SDGsから地球規模の課題を捉え、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動。 		
排内 列容 の 分構 量成 等・	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各章の最初に設けられた「導入の活動」で見方・考え方を明示し、見開きごとに説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック&トライ」を設け、思考力・判断力・表現力を高められるようにしている。各章末には「座標軸」「ステップチャート」といった思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し学びを深め、「みんなでチャレンジ」で対話的な活動を効果的に実践できる構成となっている。 ○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は35ページ、「私たちと経済」は52ページ、「私たちと政治」は90ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は40ページ、「その他」は38ページ、総ページ数は255ページで、前回よりも約3%増となっている。 			
使用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先住民族としてアイヌ民族を取り上げ、国際的な動きから先住民族としての権利が保障されたことを考察できるようにしたり、先住民族の権利に関する国連宣言などの資料を掲載したりするなどし、生徒の関心を高める工夫がなされている。 ○ 各章の「導入の活動」と「まとめの活動」には共通の題材を使い、学習に関連性をもたせている。また、各単元の最後には「基礎・基本のまとめ」を設け、図などを使って学習内容を整理することで、基礎・基本の定着を図れるようにしている。 ○ 視覚的効果が高い幅広のAB判で、使用しているすべての文字はユニバーサルデザインフォントとなっており、すべての生徒にとって見やすくなるように工夫されている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第3学年 公民的分野	公民 902	中学社会 公民 ともに生きる
取 扱 内 容	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、日本の輸出額と輸入額の推移や情報通信機器の保有率の推移、高齢者数の推移などから、現代社会の変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、家庭内でのスマートフォンをめぐるルールや学校生活におけるルールについて、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動。 ・「私たちと経済」において、キャベツの月別の入荷量と平均価格や洋服の価格の内訳などについて、分業と交換、希少性や市場メカニズムなどに着目して、市場経済の考え方、市場における価格の決め方を理解したり、日本の総人口の推移や介護保険制度の仕組みについて対立と合意、効率と公正に着目して、社会保障が果たす役割を考察したりする活動。 ・「私たちと政治」において、男女の平均賃金の推移や夜間学級の取り組みなどから、基本的人権と法の支配などに着目して、人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、選挙権が18歳に引き下げられたことにどのような意味があるのかを、国民の政治参加と民主主義の推進に関連づけ考察したりする活動。 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、青年海外協力隊、ODAについて、協調や日本の役割などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構を理解したり、「持続可能な社会の実現へ」をテーマとして、国際社会の平和の実現と課題の解決にむけ、考察、構想し、自分の考えをもとに対話を行い、発信したりする活動。 			
学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等				
排 内 列 容 ・ の 分 構 量 成 等	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各章の「学習のはじめに」の中で「学習の見通し」を提示し、見開きごとに主題と学習事項を表す副題、学習課題を設け、学習の最後には「確認／表現」コーナーの「問い」を行うことで生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮されている。また、グループによる学習活動を行う、特設ページ「言葉で伝え合おう」がバランスよく設置され、主体的・対話的で深い学びに資する学習および指導ができるような構成となっている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は26ページ、「私たちと経済」は64ページ、「私たちと政治」は90ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は44ページ、「その他」は40ページ、総ページ数は264ページで、前回よりも約6%増となっている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 稚内市の風力発電を取り上げ、北海道の事例から再生可能エネルギーを考察できるようにしたり、ニセコ町の環境や自然保全の取り組みを取り上げるなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各章の始めに「学習のはじめに」が設けられ章全体の内容を大観し、章末の「学習のまとめと表現」で図や語句を用いて整理する活動、「思考ツール」などを用いて考えを表現する活動、章全体を貫く「問い」に回答する活動を通して各章の学習をまとめることができる。さらに、「次章の学習へ」のコーナーを末尾に設け、学びの「現在地」を確認しつつ、次の章の学習を想起しながら接続が図れるようにしている。</p> <p>○ すべての生徒にとって見やすい、カラーユニバーサルデザインに基づく紙面づくりがなされ、CUDOの認証を受けている。文字はユニバーサルデザインフォントによる黒文字を基本としている。</p>			
そ の 他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	46 帝国	第3学年 公民的分野	公民 903	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
取 扱 内 容	学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、子どもと高齢者が共に過ごす施設について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、防災備蓄倉庫の新設の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動。 ・「私たちと経済」において、無人島を例にした活動を通して、分業と交換、希少性などに着目して、身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場における価格の決め方を理解したり、財政及び租税の役割について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動。 ・「私たちと政治」において、道路拡張と個人の権利について、個人の尊重と法の支配などに着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、議会活性化の取り組みや民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動。 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、地球温暖化について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構などの役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動。 		
排 内 列 容 の 分 構 量 成 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各章の「学習の前に」の中の「章を見通そう」で学習の見通しをもたせ、節ごとに問いを設け、見開きごとに節の問いと学習事項を示す副題、学習課題を設けている。学習の最後には「確認・説明」コーナーの「問い」を行うことで生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮されている。また、「章の学習を振り返ろう」の中で学んだ知識を確かめるとともに、グループによる学習活動を行う「見方・考え方を働かせて考えよう」が設置され、主体的・対話的で深い学びに資する学習および指導ができるような構成となっている。 ○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は26ページ、「私たちと経済」は64ページ、「私たちと政治」は80ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は40ページ、「その他」は25ページで、総ページ数は235ページで、前回より1%増加している。 			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旭川市の旭山動物園条例を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭の写真を掲載したりするなど、身近な事例を用いて生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 生徒に関心が高そうな社会的事象の写真を見開きの最初に大きく掲載し、授業の導入で生徒の学習意欲を高められるように図っている。 ○ 各章の「学習の前に」で、イラストを読み解き、学習意欲を喚起するとともに、章の内容を大観し、「章の学習を振り返ろう」で章全体を貫く「問い」に対する学習のまとめをすることができる。さらに、次章への準備のコーナーを設け、学習の接続を図る工夫がなされている。 ○ すべての生徒にとって見やすいようユニバーサルデザインフォントを使用している。また、二次元コード（QRコード）が掲載されており、授業でタブレット端末等を利用すれば動画等のコンテンツが活用できるようになっている。 			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第3学年 公民的分野	公民 904	中学社会 公民的分野
取 扱 内 容	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> 学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、情報モラルや情報リテラシーを扱う際にスポーツへのタブレットPCの活用等生徒が興味をもちやすい事例を取り扱ったり、我が国の伝統や文化を扱う際にカップ麺等身近な事例を取り上げて課題を追究したりと、話題性のある事例に親しみながら多面的・多角的に考察する活動。 ・「私たちと経済」において、少子高齢社会における社会保障の在り方を学ぶ際に、公的年金制度の仕組みの学習だけでなく、学生納付制度や世代間扶養方式等も盛り込んだ「将来の年金シミュレーション」の特設ページを用いた学習や、これを用いて持続可能な社会を維持する観点に立ちながら主体的に課題を追究し、実生活に根ざした発展的な考察をする活動。 ・「私たちと政治」において、戦前の検閲、海賊版ウェブサイト、女性国会議員の割合、同和問題等を扱った図やグラフ等を用い、過去の事例や現代社会の諸課題に対して基本的人権との関わりを明確にしなが、考察したり公正に判断したりする力を養う活動。 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国際社会の諸計画や政策に対してシンキングツール(PMIシート)を用いて、“Plus 良い点”、“Minus 悪い点”、“Interesting おもしろい点”を書き込んで交流する活動が例示されており、これを用いた社会的事象を多面的・多角的にとらえ、各々のプレゼンテーションを相互評価する活動。 			
排 内 列 容 ・ の 分 構 量 成 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、公民で扱う概念の抽象性を具体化するための解説が、各編の最初に設けられた「学習のはじめに」などにわかりやすく記載されている。そして、見開きごとに学習課題の解決に向けた手がかりとなる「見方・考え方」コーナーが設けられており、小コラム「アクティビティ」や追課題「深めよう」などのコーナーを通して考察したり、議論したりできる構成になっており、編末の「チャレンジ公民」の発展課題につながっている。このように編の学習を通して思考力・判断力・表現力等を培う学習を展開しやすくなるよう工夫されている。 ○ 内容の分量については「私たちと現代社会」が28ページ、「私たちと経済」が54ページ、「私たちと政治」が88ページ、「私たちと国際社会の諸課題」が45ページ、「その他」が42ページで総ページ数は257ページ。前回よりも3%増となっている。 			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「私たちの生活と政治」において、現代社会に残る差別問題を扱う際に、アイヌ民族への差別の実態と歴史上の経緯、過去の差別を乗り越えて制定されたアイヌ文化振興法等の内容や諸政策についての記述がある。また、「私たちと国際社会」では、北方領土について17世紀の松前藩の統治から現状に至る経緯が詳細に記載されている。 ○ 編末のまとめのページ「チャレンジ公民」では、それまでの学習内容を活用し、現代社会の課題について、より深く考察したり議論したりできるよう編集されている。 ○ 抽象的な事象でも具体的にイメージできるよう図版が多く掲載されており、新しい事例(自動運転、都市鉱山等)や生徒に身近で話題性のある事例(スマートフォンの知的財産権、ゆるキャラ等)を積極的に取り上げている。 ○ 授業づくりの支援のため、ICTを活用したコンテンツがweb上に公開されており、資料準備がしやすくなるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインに配慮したフォントが用いられ、ふりがなも判読しやすい。 			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	225・自由社	第3学年 公民的分野	公民 905	新しい公民教科書
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、グローバル化の影響とその対応について理解を深めつつ、日本型食生活の海外への伝播や政府のクールジャパン戦略など日本の文化の影響力にも着目させ、双方向の視点で多面的・多角的に考察する活動。 ・「私たちと経済」において、経済活動や個人と社会の関わりを学ぶ際に、級友と共同経営者となる設定で、扱う商品、組織、資金調達の方法、従業員に支払う給料、社会的責任の果たし方等について調べ、企画書をまとめてプレゼンテーションを行う活動や、これをもとにした相互評価や議論といった活動。 ・「私たちと政治」において、日本国憲法の三原則を学ぶ際に、日本と同じく平和条項を内包する各国の憲法に触れ、平和条項の中身、戦力を放棄しているか否か、平和条項の背景について調べたり比較したりしながら表にまとめ、各国が相互に主権を尊重することの大切さや、平和と繁栄のために協力し合うことの大切さについて多面的・多角的に考察する活動。 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、自衛隊の海外派遣の背景や活動内容を理解するとともに、現地での治安維持を担当する際に発生した警護問題がきっかけとなりPKO協力法改正につながった事実や、海賊対処の実態やテロ対策特別措置法等にも着目させ、自衛隊員の苦労や努力、現地の状況に合わせた法改正について発展的に考察する活動。 			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				
排 列 の 分 構 量 成 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各章の小コラム「ミニ知識」や大コラム「もっと知りたい」、学習活動を例示した「アクティブに深めよう」の内容が充実しており、本文に記載された内容を深めたり、異なる視点から考察した上で議論したりする活動に生かせる内容である。また、終章の「課題の探求」では「レポートと卒業論文をつくろう」と題して、原稿の作成の仕方、調べ方、プレゼンテーションの仕方、課題の見つけ方、まとめ方などが分かりやすく記載されており、生徒が主体的・対話的で深い学びに到達できるよう工夫されている。 ○ 内容の分量については「私たちと現代社会」は42ページ、「私たちと経済」は44ページ、「私たちと政治」は78ページ、「私たちと国際社会の諸課題」60ページ、「その他」は37ページで総ページ数は261ページで、前回より17%増となっている。 			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大コラム「もっと知りたい」の中で北方領土をソ連によって占領された経緯や返還要求の努力について記載されている。日ソ共同宣言など歴史的な事象にしっかりと触れており、丁寧な説明がなされている。 ○ 章末の「学習のまとめと発展」で「最重要語句」の一覧が明記されている。練習問題や章の総括的な内容は見られず、重要語句を中心に振り返りの学習をするよう示唆する内容になっている。また、同ページに「学習の発展」と題した400字程度でまとめるレポート課題が複数記載されている。 ○ 紙面上の写真、図、グラフに番号が振られておらず、生徒に閲覧を支持する際に教師側が工夫する必要がある。図やグラフ、写真等の資料は他社より大きく記載されているものが多く、見やすくなっている。 			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ○ コラムが充実しており、発展的な学習を多く取り扱う際は有用である。 ○ 北海道に関わる記述が少ない。 ○ 章末の「学習のまとめと発展」は自主学習を促す内容になっている。 			

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	227・育鵬社	第3学年 公民的分野	公民 906	[最新] 新しいみんなの公民
取 扱 内 容	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、日本の年齢別人口構成とその変化について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、サッカーのルールやごみの出し方のルールについて、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動。 ・「私たちと経済」において、トマトの需要と供給の関係をグラフに表す活動を通じて、分業と交換、希少性などに着目して、身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場における価格の決め方を理解したり、相対的貧困率の推移や社会保障制度について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動。 ・「私たちと政治」において、女性の年齢別労働力率の推移や男性の育児研修会の取り組みについて、個人の尊重と法の支配などに着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、地域のまちづくりについて、民主主義などに着目し、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動。 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、ミレニアム開発目標について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構などの役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、国際社会の平和の実現と課題の解決に向け、考察、構想し、自分の考えをもとに対話を行い、発信したりする活動。 			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				
排 内 列 容 の 分 構 量 成 等	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各章の導入に「入り口」を設け、章全体の学習内容の趣旨を捉えさせ、見開きごとに学習事項を示す副題、学習課題を設け、各章末には「学習のまとめ」の「問い」を行うことで生徒が自ら学び、自ら考える学習が展開できるように配慮されている。また、章末の「学習のまとめ」で学んだ知識を確かめるとともに、グループによる学習活動を行う「これから」を設置し、主体的・対話的で深い学びに資する学習および指導ができるような構成となっている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は28ページ、「私たちと経済」は52ページ、「私たちと政治」は80ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は43ページ、「その他」は45ページで総ページ数は248ページ。前回と増減はない。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ アイヌの古式舞踊を取り上げ、北海道の事例から日本の伝統文化を考察できるようにしたり、北海道下川町の森林との共生による暮らしの写真を掲載したりするなど、身近な事例を用いて生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 章末の「これから」に「スキルアップ」が設けられ、発表や議論のしかた、ロールプレイング、ディベート、KJ法、ポスターツアーなどを用いた学習を通して、公民の基礎的な技能を身につけられるように図られている。</p> <p>○ 図版はすべての生徒が判別しやすい色の使用や表示の工夫がなされる等の配慮がされている。また、重要語句や難解な漢字には振り仮名が付けられており、振り仮名にはゴシック体を用い、小さな文字が読み取りやすいよう配慮されている。</p>			
そ の 他				